様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

（単位:千円）

	28年度　A	27年度　B	増減(A−B)
予　算　額	66,251	65,122	1,129

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	1,868

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【概要】
あざみ野～湘南台間32駅、40．4kmの鉄道用通信設備の保守材料等の購入

【目的】
通信設備の機能の維持

【課題・目標】
新規設備導入により必要な材料の種類も増えているが、適切な在庫管理と共通化を図り在庫数量を抑える

【購入する物品】
・ 電話機、インターホン等、各種通信機器
・ ケーブル、配管等の工事用部材
ほか、通信設備の運用、保守に必要な機器、材料

（2　前年度から変更・見直しした点）

なし

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）
信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
2　光ネットワーク、電話交換機、一斉発信装置保守業務委託	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【概要】

ブルーラインに設置している通信設備（光LAN・バックボーン・総合設備ネットワーク・電話交換機・一斉FAX装置・一斉発信装置等）の検査・オンコール保守を行います。

【目的】

検査による設備の故障予防と長寿命化、ｵﾝｺｰﾙ保守による迅速な障害対応の確保

【詳細】

1　光LAN・バックボーン

(1)　用途

誘導無線・指令電話・自営PHS等の各種情報を伝送する設備

(2)　構成

中央装置（総合司令所）、駅装置（各駅、車両基地、本庁ﾋﾞﾙ）

2　総合設備ネットワーク

(1)　用途

早期地震警報システム・案内表示器・在線表示器・地震計

(2)　構成

中央装置（総合司令所）、駅装置（各駅、車両基地、本庁ﾋﾞﾙ）

3　交換機・一斉発信装置

(1)　用途

鉄道電話・自営PHS・一斉FAX・一斉通報機能による総合司令所からの業務連絡

(2)　構成

交換機（戸塚駅・関内駅・センター北駅・高島町駅・新羽車両基地）

一斉FAX装置（関内駅）

一斉通報装置（総合司令所）

PHS制御ユニット（各駅）

【内訳】

単位：千円

項目	数量	単位	備考
検査			
光LAN・バックボーン　検査	1	式	
総合設備ネットワーク　検査	1	式	
交換機・一斉発信装置　検査	1	式	
その他			
花咲ビル点検（停電）対応	1	式	
オンコール			
光LAN・バックボーン	1	式	
総合設備ネットワーク	1	式	
交換機・一斉発信装置	1	式	
経費	1	式	
合計		[redacted]	税8%込

（2　前年度から変更・見直しした点）

平成27年度に増設したPHS制御装置のオンコール費用の増加

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
3　列車情報伝送装置保守委託	[redacted]
中期経営計画　—	

（1　事業目的・内容）

【概要】

ニュース提供機関から伝送された情報を、情報発信中央装置が収集し、駅に設置された情報発信端末から、地下鉄の車内情報表示器に情報を伝送する装置である。

【機器構成】

・中央装置（総合司令所）　:1台
・情報入力端末（花咲ビル（観光・営業企画課））:1台
・駅装置（情報発信端末・無線LAN）　:3組　（湘南台、桜木町、あざみ野）

【目的】

予防保全による設備の機能確保

【点検項目】

1か年検査（内外観検査・診断プログラム検査・データ解析等）

【内訳】

単位:千円

項目	数量	単位	備考
中央装置	1	台	司令所
駅装置	3	台	あざみ野、桜木町、湘南台
入力端末	1	台	花咲ビル
経費	1	式	花咲ビル
計			[redacted] 税込

（2　前年度から変更・見直しした点）

なし

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
4　1・3号線列車無線装置保守委託	[redacted]
中期経営計画　—	

(1　事業目的・内容)

【概要】

誘導無線電話装置(列車無線)は、運輸司令と列車間の通話、列車防護(非常・防護発報)、地震時における自動列車停止等を行う装置で、鉄道法の保安通信設備に該当する重要設備です。

本業務では中央装置、各基地局装置、隧道内設置の各線路機器の保守点検と、オンコール保守を行うものです。

【機器構成】

中央制御装置　1式(総合司令所)

基地局　7局(3年毎「ｾﾝﾀｰ北、新横浜」、3年毎「横浜、蒔田」、3年毎「戸塚、立場、上永谷」)

主要線路機器　56台(線路結合器、比較器、中継変成器、終端抵抗器)

【目的】

予防保全による設備の機能とオンコール保守による迅速な障害対応の確保

【点検項目】

1か年検査:　機能試験(電波法試験、通話、非常・防護発報試験、系切替機能等)

【内訳】

点検費用　:　1か年検査(点検周期の関係で、年度により数量が異なります)

※契約単価ではなく設計単価です。　単位:千円

項目	数量	単位	備考
基地局(本線)	2	局	3年周期(新横浜、センター北)
基地局(蓄電池交換)	2	局	3年周期(上記、基地局)
IR外部電源ﾊﾞｯﾃﾘ交換	3	台	3年周期(片倉町、あざみ野、新羽)
駅発報制御装置ﾊﾞｯﾃﾘ交換	0	台	3年周期(H26実施済で次回はH29実施予定)
線路機器機能点検	2	局	3年周期(基地局と同一エリア)
オンコール費	1	式	
諸経費	1	式	
計			[redacted] 税込

(2　前年度から変更・見直しした点)

点検周期による点検数量減、部品(バッテリ)交換数量減

(H27年度からは、それまでの線路機器外観点検をやめて直営点検とし、線路機器の機能点検を追加実施中。)

(3　根拠法令・規程、現場の意見等)

運転保安実施基準・信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
5　指令電話装置保守業務委託	[redacted]
中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【概要】
指令電話は、総合司令所より各駅等に対する列車運行に係る司令伝達及び電力供給に関する司令伝達に使用する保安通信設備で、音声の伝送には光LANシステムを使用しています

【機器構成】
総合司令所：制御装置1台、司令操作卓6台、直流電源装置1台ほか
各駅他：指令電話子機　運転系80台、電力系18台

【目的】
予防保全による設備の機能確保

【点検項目】
1か年検査（機能試験・診断プログラム試験・直流電源装置検査等）

（2　前年度から変更・見直しした点）

機器更新によるかし期間が終了したため、オンコール費用を計上

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
6　V-UHF無線電話装置点検整備	[redacted]

中期経営計画	―

(1　事業目的・内容)

【概要】

〇VHF無線(保守用無線)　＝保守区と地上部を移動する緊急車両車載無線機、携帯無線機、可搬無線機との業務用無

〇UHF無線(基地構内無線)＝車両基地で列車を入出区する時に列車と基地信号扱所間で使用する無線

これら設備の点検整備及び調整を行います。

【機器構成】

VHF保守用無線	基地局	4局 (花咲ビル、ｾﾝﾀｰ南、上永谷基地、踊場)
	移動局	41局 (車載7局、可搬10局、携帯24局
	通信所	5か所(司令所、永谷基地信、関内駅、上永谷電気区、新羽電気区)
UHF基地構内無線	基地局	2局 (上永谷基地、新羽基地)
	移動局	43局 (携帯局)
	通信所	0か所(基地構内限定設備)
合計	基地局	6局 (上永谷基地、新羽基地)
	移動局	84局
	通信所	5箇所

【点検項目】

①6か月毎検査　機能試験(電波法試験、通話等)

②無線局定期検査(基地局)(5年周期)

③再免許(5年周期)

※②、③については別途予算計上

【目的】

予防保全による設備の機能の確保

【内訳】　単位:千円

	項目	数量	単位	備考
①	基地局	6	局	
	移動局	84	局	
	通信所	5	箇所	基地局によっては同一か所に通信所設置の場合あり
	経費	1	式	
合計			[redacted]	税込み

【課題・目標】

点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼動を図り長寿命化を図る。

(2　前年度から変更・見直しした点)

なし

(3　根拠法令・規程、現場の意見等)

電波法第28、29条、信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
7　ホーム監視画像伝送装置保守業務委託	[redacted]
中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【概要】

本システムは、主要駅ホームに設置したITVカメラの映像を専用光伝送装置により総合司令所に伝送し、大画面モニタにより リアルタイムにホームの状況を監視するシステムです。 ワンマン運転化により不足する駅構内の情報を補い、司令からの的確な運行指示及び防犯を目的とした設備です。

本委託では、中央装置、伝送装置の定期点検を委託します。

【機器構成】

・総合司令所　：　中央装置一式
　画像管理装置　1台
　光伝送装置　1台
　映像変換装置　1台
：大画面モニタ（2面）、操作端末（2台）

・設置駅（10駅）：湘南台、戸塚、上大岡、関内、桜木町、横浜、新横浜、センター南、センター北、あざみ野
　ITVカメラ　(38台)、 映像変換装置(38台)、
　光伝送装置　(10組)、 録画装置(10台)、　操作監視端末(10台)　ほか

【点検項目】

・予防保全による機能の維持：1か年検査（外観検査・診断プログラム検査・光レベル測定等）

【目的】

予防保全による設備の機能の確保

【目標】

点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼動を図り長寿命化を図る。

（2　前年度から変更・見直しした点）

定期交換部品の増加

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：20　電路保存費	所属：電気課
節・細節：34　通信施設修繕費			担当者：西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
8　対列車画像伝送装置保守業務委託	[redacted]
中期経営計画　―	

（1　事業目的・内容）

【概要】
本設備はワンマン運転の支援設備で、ホームITVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信機を使用した無線電波で車上に伝送するものです。運転士は、運転台のTVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車ドアーの開閉操作を行います。
本委託では、保守点検及びオンコールによる障害対応を委託します

【機器構成】
ミリ波送信機　76台　　ITVカメラ　227台　　録画装置　34台

【点検項目】
1か年検査　機能試験（電波法試験、映像確認、カメラ機能試験、清掃等）
5か年検査　（精密検査）　8駅

【目的】
予防保全による設備の機能とｵﾝｺｰﾙ保守による迅速な障害対応の確保

【課題】
ITVカメラ、録画装置が更新時期を迎えていることから、更新の検討が必要
[redacted]
なお、ブルーラインのカメラは老朽化による故障多発のため、28年度に更新を予定

【目標】
点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼動を図り長寿命化を図る。

（2　前年度から変更・見直しした点）

定期交換部品の減

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
9　早期地震警報システム保守業務委託	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【設備概要】

早期地震警報システムは、気象庁から配信される緊急地震速報を用い、独自の計算により市営地下鉄沿線への被害を予測します。大きな揺れが予想される場合には、列車無線装置と連携し列車を自動停止させます。さらに、エレベータの自動停止や駅構内への緊急放送を自動起動する機能も備えています。

このシステムを構成する総合司令所設置の中央装置（ファクトリーコンピュータ・ルータ・ハブ・接点出力装置）の保守点検、各駅等に設置の早期地震警報受信端末の保守点検及び交換周期に基づく蓄電池交換作業を行います。

【機器構成】

中央装置（司令所機器室）：1式

表示装置（司令室）：1式

端末（各駅・新羽車両基地・上永谷車両基地等）：44台

【点検項目】

1か年検査：外観検査、プログラム検査、模擬発報試験、機能試験

【内訳】

単位：千円

項　目	数量	単位	備考
中央装置保守点検	1	式	
駅端末点検（夜）	12	台	
駅端末バッテリ交換	41	台	
経費	1	式	
合　計　（税8%込）			[redacted]

【課題】

オンコール保守未契約のため、故障発生時には別途修理費が発生。

（2　前年度から変更・見直しした点）

点検周期による点検数量増

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信施設整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
10　放送設備点検整備(ブルーライン)	[redacted]
中期経営計画	―

(1　事業目的・内容)

【概要】
放送設備の消防点検(6ヶ月、12ヶ月)及び放送設備全般の調整、清掃

【機器構成】
全駅(あざみ野～湘南台)32駅、放送機、スピーカ、ワイヤレスアンテナ、非常電源

【点検項目】
6か月検査　機能試験(消防法=火災放送・火災報知機連動試験)
通常点検(通常放送、ﾜｲﾔﾚｽ機能、自動案内放送等)

【点検実施駅】
・消防法点検　27駅(地下駅)
・通常点検　3駅(地上駅である仲町台、新羽、上永谷)

【目的】
予防保全による非常放送、ホーム放送、業務放送等の機能の維持

(2　前年度から変更・見直しした点)

定期交換部品の減

(3　根拠法令・規程、現場の意見等)

消防法、信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款: 02　高速鉄道事業費	項: 01　営業費用	目: 20　電路保存費	所属: 電気課
節・細節: 34　通信施設修繕費			担当者: 西室、中山、薮崎

【事業内容】	計画額
11　その他機器修理	2,532

中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【概要】
あざみ野～湘南台間、32駅、40.4kmの鉄道用通信設備の機器修理

【目的】
通信設備の機能の維持、保安度の向上

【課題】
設置から5年、10年が経過した機器類が多くあり、故障が発生する確率が高くなっている。

【目標】
日常点検により不具合部分の早期発見に努め、機器類の長寿命化を図る。

【修理する機器】
無線機、カメラ、放送設備等、通信設備を構成する機器類の修理

（2　前年度から変更・見直しした点）

なし

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 大平

（単位:千円）

	28年度　A	27年度　B	増減(A−B)
予　算　額	34,237	31,187	3,050

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	735

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【概要】
日吉～中山間10駅、13．1kmの鉄道用通信設備の保守材料等の購入

【目的】
通信設備の機能の維持

【課題・目標】
新規設備導入により必要な材料の種類も増えているが、適切な在庫管理と共通化を図り在庫数量を抑える

【購入する物品】
・ 電話機、インターホン等、各種通信機器
・ ケーブル、配管等の工事用部材
ほか、通信設備の運用、保守に必要な機器、材料

（2　前年度から変更・見直しした点）

なし

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 大平

【事業内容】	計画額
2　光ネットワーク、電話交換機、一斉発信装置保守業務委託	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【概要】

グリーンラインに設置している通信設備（光LAN・バックボーン・総合設備ネットワーク・電話交換等）の検査・オンコール保守を行います。

【目的】

検査による設備の故障予防と長寿命化、ｵﾝｺｰﾙ保守による迅速な障害対応の確保

【詳細】

1　光LAN・バックボーン

(1)　用途

誘導無線・指令電話・自営PHS等の各種情報を伝送する設備

(2)　構成

中央装置（総合司令所）、駅装置（各駅、車両基地）

2　総合設備ネットワーク

(1)　用途

早期地震警報システム・案内表示器・在線表示器・地震計

(2)　構成

中央装置（総合司令所）、駅装置（各駅、車両基地）

3　交換機・一斉発信装置

(1)　用途

鉄道電話・自営PHS・一斉FAX・一斉通報機能による総合司令所からの業務連絡

(2)　構成

PHS制御ユニット（各駅、車両基地）

【内訳】

単位：千円

項目	数量	単位	備考
検査			
光LAN・バックボーン　検査	1	式	
総合設備ネットワーク　検査	1	式	
オンコール			
光LAN・バックボーン	1	式	
総合設備ネットワーク	1	式	
交換機・一斉発信装置	1	式	
経費	1	式	
合計	[redacted]		税8%込

（2　前年度から変更・見直しした点）

なし

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款: 02　高速鉄道事業費	項: 01　営業費用	目: 20　電路保存費	所属: 電気課
節・細節: 34　通信施設修繕費			担当者: 大平

【事業内容】	計画額
3　グリーンビジョン(液晶型列車内情報表示装置)保守委託	[redacted]

中期経営計画　－

(1　事業目的・内容)

【設備概要】

運輸司令にて入力された他社線及び市営地下鉄の運行情報や、花咲ビル設置のメディア編集装置から配信する動画や静止画の各種広告、横浜市や交通局の事業案内、神奈川新聞社から配信されるニュースを、司令所の中央装置において蓄積し、駅に設置された端末装置からミリ波送受信装置により、グリーンラインの車両に伝送し、車内液晶表示器へそれらの情報を表示するための設備です。

本委託は、これらの設備の各種機器の保守点検を行うものです。

総合司令所	:中央装置一式　(システム監視サーバ、ネットワークサーバ、ニュースコンテンツ変換サーバ、Webコンテンツクライアント)
	:運行情報入力装置(緊急メッセージ入力端末)
駅ネットワーク装置	:日吉、センター北、中山(ネットワーククライアント、端末装置、ミリ波送受信装置)
花咲ビル	:編集装置一式、緊急メッセージ入力端末
各箇所共通	:光端局装置

【点検項目】

1か年検査:外観検査、各種機能点検・光伝送レベル検査・ミリ波送受信レベル測定等

【内訳】

点検費用　:　1か年検査　　単位:千円

項目	数量	単位	備考
中央装置	1	式	司令所
メディア編集装置	1	式	司令所
駅ネットワーク装置	3	式	日吉、セ北、中山
ミリ波伝送装置	3	式	日吉、セ北、中山
ミリ波伝送装置(予備品)	1	式	川和電気区
運行情報入力装置	2	式	司令所、花咲
光端局装置	1	式	日吉、セ北、中山
オンコール費	0	式	以前からなし
経費	1	式	
計			[redacted] 税込

(2　前年度から変更・見直しした点)

なし

(3　根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款: 02　高速鉄道事業費	項: 01　営業費用	目: 20　電路保存費	所属: 電気課
節・細節: 34　通信施設修繕費			担当者: 大平

【事業内容】	計画額
4　4号線　列車無線装置保守委託	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【概要】
列車無線装置は運輸司令と列車間の通話、列車防護（防護発報）、地震時における自動列車停止等を行う装置で、鉄道法の保安通信設備に該当する設備です。
本業務では中央装置及び基地局装置の保守点検、オンコール保守を行います。

【機器構成】
中央制御装置　：　1式（総合司令所）
基地局　：　5局（日吉本町、北山田、ｾﾝﾀｰ南、川和町、川和基地）
中継局　：　1局（東山田）
携帯防護無線機（試験装置含む）　：33局

【目的】
予防保全による機能の維持及びオンコール保守による迅速な障害対応の確保

【点検項目】
1か年検査　機能試験（電波法試験、通話、防護発報試験、系切替機能等）

【費用】
点検費用　：　1か年検査　　単位：千円

項目	数量	単位	備考
本線基地局	4	局	本町、北山田、セ南、川和
車庫基地局	1	局	川和基地
中継局	1	局	東山田
光伝送装置	6	台	司令所、基地局
録音装置等	1	式	司令所
携帯防護無線機	28	台	司令所、基地局
オンコール費	1	式	
諸経費	1	式	
合計		[redacted]	税込

（2　前年度から変更・見直しした点）
なし（経費見直しによる増加）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）
運転保安実施基準・信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 大平

【事業内容】	計画額
5　指令電話装置保守業務委託	[redacted]
中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【概要】
指令電話は、総合司令所より各駅等に対する列車運行に係る司令伝達及び電力供給に関する司令伝達に使用する保安通信設備で、音声の伝送には光LANシステムを使用しています

【機器構成】
総合司令所：制御装置1台、司令操作卓5台ほか
各駅：指令電話子機（運転系24台、電力系6台）、司令PHS制御装置10台、司令PHSアンテナ50台
川和車両基地：多機能電話機2台、多機能電話制御装置1台

【目的】
予防保全による設備の機能確保

【点検項目】
1か年検査（機能試験・診断プログラム試験・直流電源装置検査等）

（2　前年度から変更・見直しした点）

前年同様

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 大平

【事業内容】	計画額
6　V-UHF無線電話装置点検整備	[redacted]
中期経営計画　－	

（1　事業目的・内容）

【概要】
・VHF無線（保守用無線）　＝保守区と地上部を移動する緊急車両車載無線機、携帯無線機、可搬無線機との業務用無線
・UHF無線（基地構内無線）＝車両基地で列車を入出区する時に列車と基地信号扱所間で使用する無線
　これら設備の点検整備及び調整を行う。

【機器構成】

VHF保守用無線	基地局	0局　（ｾﾝﾀｰ南駅「よこはまこうつうにっぱ（BL予算）」を使用のため未計上）
	移動局	9局　（車載3局、可搬1局、携帯5局
	通信所	0か所（川和電気区の通信所は、基地局同一場所につき基地局点検に含む）
UHF基地構内無線	基地局	1局　（川和車両基地）
	移動局	10局　（携帯局）
	通信所	0局　（基地構内限定設備）
合計	基地局	1局　（上永谷基地、新羽基地）
	移動局	19局
	通信所	0箇所

【目的】
　予防保全による機能の維持及び法定検査

【点検項目】
　①6か月毎検査　機能試験（電波法試験、通話等）
　②無線局定期検査（基地局）（5年周期）
　③再免許（5年周期）
　※②、③については別途予算計上

【内訳】
　点検費用　　単位：千円

	項目	数量	単位	備考
①	基地局	1	局	川和基地(BL共有のセ南は除く)
	移動局	19	局	
	経費	1	式	
	計			[redacted] 税込み

【課題・目標】
　点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼動を図り長寿命化を図る。

（2　前年度から変更・見直しした点）
　なし

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）
　電波法第28、29条、信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款: 02　高速鉄道事業費	項: 01　営業費用	目: 20　電路保存費	所属: 電気課
節・細節: 34　通信施設修繕費			担当者: 大平

【事業内容】	計画額
7　ホーム監視画像伝送装置保守業務委託	[redacted]
中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【概要】
本システムは、主要駅ホームに設置したITVカメラの映像を専用光伝送装置により総合司令所に伝送し、大画面モニタにより リアルタイムにホームの状況を監視するシステムです。 ワンマン運転化により不足する駅構内の情報を補い、司令からの的確な運行指示及び防犯を目的とした設備です。　本委託では、中央装置、伝送装置の定期点検を委託します。

【機器構成】
・総合司令所　：中央装置一式
　画像管理装置　1台
　光伝送装置　1台
　映像変換装置　1台
：大画面モニタ（2面）、操作端末（2台）
・設置駅　：グリーンライン全駅
　ITVカメラ計205台、光伝送装置10組、録画装置36台、操作監視端末18台ほか

【点検項目】
・予防保全による機能の維持：1か年検査（外観検査・診断プログラム検査・光レベル測定等）

【目的】
予防保全による設備の機能の確保

【目標】
点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼動を図り長寿命化を図る。

（2　前年度から変更・見直しした点）

定期交換部品の増

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款：02　高速鉄道事業費　項：01　営業費用　目：20　電路保存費 節・細節：34　通信施設修繕費	所属：電気課 担当者：大平

【事業内容】	計画額
8　対列車画像伝送装置保守業務委託	[redacted]
中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【概要】
本設備はワンマン運転の支援設備で、ホームITVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信機を使用した無線電波で車上に伝送するものです。運転士は、運転台のTVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車ドアーの開閉操作を行います。
本委託では、保守点検及びオンコールによる障害対応を委託します

【機器構成】
ミリ波送信機　24台　ITVカメラ　40台

【点検項目】
1か年検査　機能試験（電波法試験、映像確認、カメラ機能試験、清掃等）

【目的】
予防保全による設備の機能とｵﾝｺｰﾙ保守による迅速な障害対応の確保

【課題】
ITVカメラ、録画装置が更新時期を迎えていることから、更新の検討が必要
[redacted]
なお、ブルーラインのカメラについては28年度に更新を予定

【目標】
点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼動を図り長寿命化を図る。

（2　前年度から変更・見直しした点）

定期交換部品の減

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 大平

【事業内容】	計画額
9　早期地震警報システム保守業務委託	[redacted]
中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【設備概要】

早期地震警報システムは、気象庁から配信される緊急地震速報を用い、独自の計算により市営地下鉄沿線への被害を予測します。大きな揺れが予想される場合には、列車無線装置と連携し列車を自動停止させます。さらに、エレベータの自動停止や駅構内への緊急放送を自動起動する機能も備えています。

このシステムを構成する総合司令所設置の中央装置（ファクトリーコンピュータ・ルータ・ハブ・接点出力装置）の保守点検、各駅等に設置の早期地震警報受信端末の保守点検を行います。

【機器構成】

中央装置（司令所機器室）：1式
表示装置（司令室）：1式
端末（各駅・川和車両基地等）：12台

【点検項目】

1か年検査：外観検査、プログラム検査、模擬発報試験、機能試験

【内訳】

単位：千円

項　目	数量	単位	備考
中央装置保守点検	1	式	
駅端末点検（夜）	4	台	
駅端末バッテリ交換	3	台	
経費	1	式	
合　計　（税8%込）			[redacted]

【課題】

オンコール保守未契約のため、故障発生時には別途修理費が発生。

（2　前年度から変更・見直しした点）

点検周期に基づく対象機器の減

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信施設整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款：02　高速鉄道事業費　項：01　営業費用　目：20　電路保存費 節・細節：34　通信施設修繕費	所属：電気課 担当者：大平

【事業内容】	計画額
10　放送設備点検整備（グリーンライン）	[redacted]
中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

【概要】
放送設備の消防点検（6ヶ月、12ヶ月）及び放送設備全般の調整、清掃

【機器構成】
全駅（日吉～中山）10駅、放送機、スピーカ、ワイヤレスアンテナ、非常電源

【点検項目】
6か月検査　機能試験（消防法=火災放送・火災報知機連動試験）
通常点検（通常放送、ﾜｲﾔﾚｽ機能、自動案内放送等）

【点検実施駅】
・消防法点検　10駅（含むｾﾝﾀｰ南北）

【目的】
予防保全による非常放送、ホーム放送、業務放送等の機能の維持

（2　前年度から変更・見直しした点）

なし（労務単価増）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

消防法、信号通信設備整備心得

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 34　通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 大平

【事業内容】	計画額
11　4号線　その他機器修理	822
中期経営計画　—	

（1　事業目的・内容）

【概要】
日吉～中山間、10駅、13.1kmの鉄道用通信設備の機器修理

【目的】
通信設備の機能の維持、保安度の向上

【課題】
設置から5年以上が経過した機器類が多くあり、故障が発生する確率が高くなっている。

【目標】
日常点検により不具合部分の早期発見に努め、機器類の長寿命化を図る。

【修理する機器】
無線機、カメラ、放送設備等、通信設備を構成する機器類の修理

（2　前年度から変更・見直しした点）

なし

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A−B)
予算額	72,819	36,017	36,802

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	2,158

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

信号保安設備の機能の維持、予防保全による列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般（湘南台～あざみ野間＝13機器室＋2車両基地＋1上永谷弱電＋1司令所＝17機器室）
軌道回路装置・連動装置・ＡＴＣ装置・信号モニタ装置・ＣＴＣ装置・運行管理システム・電源装置
ワンマン運転化によるＡＴＯ装置類およびホーム柵設備
＊信号機器室　計＝17　01あざみ野・02センタ北・03新羽・04新横浜・05片倉町・06横浜・07関内・08長者町・09上大岡・10上永谷・11戸塚・12上永谷車両基地・13上永谷弱電機器室・14司令所・15新羽車両基地・16踊場・17湘南台

○購入予定

項目	用途・目的	積算額
レールボンド	レールに帰線電流を流す	[redacted]
軌条絶縁(絶縁継目)	信号回路の構成用	[redacted]
アセチレンガス充填	レールボンド取付用	[redacted]
信号用電球	信号機の電球	[redacted]
除湿・乾燥材	転てつ機内部の除湿用	[redacted]
計		1,998
消費税(8%)		160
合計		2,158

（2　前年度から変更・見直しした点）

ワンマン運転化により新規設備が増えましたが、保守区在庫品数量の見直しを行うことにより金額の増加はありません。
レールボンド・軌条絶縁の保管在庫数を見直ししました。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 35　電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

2　1・3号線運行管理システム保守業務委託

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御・運行実績記録・在線状況表示・案内放送、および案内表示の制御を自動的に行う装置です。

この機能を維持するため、2か年検査や定期部品の交換、製造メーカーによるオンコール契約を行うものです。

総合司令所設置機器
- ・中央処理装置
- ・対ATO伝送装置
- ・運行表示盤
- ・在線状況配信装置

※　H27年度：2か年検査はなし、オンコール保守、定期部品交換（液晶ランプ、フィルター、HDD、SW-HUB、制御PC）

※　H28年度：2か年検査を実施、オンコール保守、定期部品交換（大型液晶ディスプレイ、フィルター、HDD）

※　H29年度：2か年検査はなし、オンコール保守、定期部品交換（フィルター、HDD、SW-HUB）

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
運行管理システム　オンコール費		1	式	[redacted]	メーカーオンコール
定期検査（2か年検査）		1	式	[redacted]	2か年検査
定期交換部品		1	式	[redacted]	大型液晶ディスプレイほか
経費				[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2　前年度から変更・見直しした点）

H24年度までは複数年契約（3年）を実施していましたが、H25年度からは単年度契約で実施しています。
検査周期の見直しにより定期検査を2か年周期で実施しており、H28年度は定期検査を実施します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	7,301	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

3　転てつ装置・直流電源装置点検整備

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

転てつ装置は、停車場構内にて列車入換の際に所定の番線に進行させるための転換装置で、信号保安装置と連動して安全を確保しています。
直流電源装置は、信号保安設備である連動装置、ATC装置などに安定した電源を供給するための重要な装置です。
これらの装置の機能を維持するために、点検周期に基づき分解点検および定期点検を行い、列車の安全運行を確保します。

1. 電気転てつ機を予備品と交換して受託工場に搬出し、分解点検および部品交換を行います。

※ H28年度整備箇所（全106台のうち今回6箇所）
・営業線分　（5台）：踊場（3）、伊勢佐木長者町（1）、新羽（1）
・車両基地分　（1台）：永谷基地（1）
※ 踊場の1台と新羽の1台は更新年度を超えているため、受託者にて引取り

○更新予定

年度		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
転てつ装置	営業線	0台	5台	1台	5台	10台
	車両基地	5台	1台	7台	3台	9台

2. 信号保安設備に供給するための直流電源装置2か年検査を行います。
点検内容：外観、電圧、電流測定、蓄電池放電試験、故障出力試験の実施

※ H27年度点検　8台　新羽車両基地・上大岡・上永谷・踊場・湘南台 （鉛蓄電池）
新横浜・片倉町・戸塚 （アルカリ蓄電池）

※ H28年度点検　5台　上永谷車両基地・横浜・関内・伊勢佐木長者町・新羽 （鉛蓄電池）

○内訳

項目	単価	数量	単位	積算額	備考
転てつ装置分解点検整備（営業線分）	[redacted]	3	台	[redacted]	営業線→工場→保守管理所保管
転てつ装置交換取付（営業線分）	[redacted]	2	台	[redacted]	営業線→工場引取り
転てつ装置分解点検整備（車両基地分）	[redacted]	1	台	[redacted]	車両基地→工場→保守管理所保管
転てつ装置交換部品	[redacted]	1	式	[redacted]	線条リレー、ロック狂い検出器
直流電源装置（鉛）点検整備	[redacted]	5	台	[redacted]	2か年検査
電源装置交換部品	[redacted]	1	式	[redacted]	4年周期部品交換
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2 前年度から変更・見直しした点）

転てつ機の分解点検周期は、転てつ機転換動作回数（転てつ機設置場所）によって6年、8年、10年と定めていましたが、他鉄道事業者の分解点検実施状況を調査して点検周期の見直しを行い、H22年度から列車の安全運行を確保しつつ全ての点検周期を2年延長しました。今回は本線5台、車両基地1台の計6台が交換対象となります。
直流電源装置の点検は2か年周期のため、H28年度は5台の点検を行います。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	13,499	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

4　軌条絶縁及びレールボンド点検整備

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

走行レール間の継目部には、レールを電気的に接続するレールボンドや、継目部で電気的に分割して軌道回路を構成する軌条絶縁があります。これらが健全でなくなると、信号保安設備の根幹である列車検知や列車の速度制御を行うＡＴＣの機能に支障が発生して、列車の運行ができなくなります。

これらを点検して予防保全を行うことによって、列車の安全運行を確保します。

湘南台～あざみ野間（上永谷車両基地および新羽車両基地を除く）の点検を実施する。

※ H27年度点検　軌条絶縁点検箇所合計:634箇所　（普通絶縁継目504＋接着絶縁継目130）
レールボンド点検箇所合計:2066箇所（全数量の30%は直営にて点検）

※ H28年度点検　軌条絶縁点検箇所合計:634箇所　（普通絶縁継目504＋接着絶縁継目130）
レールボンド点検箇所合計:2066箇所（全数量の30%は直営にて点検）

○内訳

項目	単価	数量	単位	積算額	備考
軌条絶縁点検整備作業	[redacted]	634	か所	[redacted]	1・3号線全か所
レールボンド点検整備作業	[redacted]	2,066	か所	[redacted]	1・3号線の30%直営化実施
軌条絶縁分解点検作業	[redacted]	6	か所	[redacted]	
レールボンド補修（取付）作業	[redacted]	20	本	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2 前年度から変更・見直しした点）

以前は電気区職員の立会いのもとで点検整備作業をおこなっていたが、現在は責任施工にて点検を実施することにより、電気区職員の立会業務を縮減しました。

上永谷車両基地および新羽車両基地内の点検については、以前から直営作業にて実施していましたが、さらにH21年度から1・3号線レールボンド全数量の30%を直営点検にて実施することによって、電気区職員の鉄道専門技術の向上と外注コストの削減に取り組んでいます。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	7,908	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

5　直流電源装置定期点検

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

直流電源装置は、信号保安設備である連動装置、ATC装置などに安定した電源を供給するための重要な装置です。
健全な機能を維持するために点検周期に基づいた2か年検査を行い、列車の安全運行を確保します。
点検内容:外観、電圧、電流測定、故障出力試験の実施

※ H27年度点検　0台（2か年検査のため、無し）

※ H28年度点検　2台（センター北・あざみ野信号機器室）

※ H29年度点検　0台（2か年検査のため、無し）

○内訳

項目	単価	数量	単位	積算額	備考
センター北信号機器室点検	[redacted]	1	台	[redacted]	2か年検査
あざみ野信号機器室点検	[redacted]	1	台	[redacted]	2か年検査
電源装置交換部品	[redacted]	1	式	[redacted]	4年周期部品交換
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2 前年度から変更・見直しした点）

点検周期2か年により、H28年度は点検を実施します。
H24年度から分離分割発注を実施し、BL・GLを分割して発注しています。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	0	[redacted]	0	[redacted]	0	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　　項: 01　営業費用　　目: 20　電路保存費 節・細節: 35　電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　　計画額

6　1・3号線自動列車運転装置(ATO)定期点検

[redacted]

中期経営計画　－

(1　事業目的・内容)

自動列車運転装置(ATO)は列車をワンマン運転するために、自動での列車運転、可動式ホーム柵～列車間の情報伝送、運転士に出発を合図する出発表示器の表示制御、運行管理システム(PTC)との情報伝送を行う装置です。

自動列車運転装置(ATO)制御架・地上子・限界支障検知の安定動作を確保するため、メーカーによる2か年検査を実施し、予防保全により列車の安全運行を確保します。

・中央制御架　2台　　・駅制御架　35台　　・中継器　69台　　・有電源地上子　69台
・無電源地上子　203台　　・限界支障検知装置　93台　　・ATO装置用UPS　26台

※　H27年度点検:1か年検査(直営作業にて実施)

※　H28年度点検:2か年検査、定期交換部品

※　H29年度点検:1か年検査(直営作業にて実施)

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
ATO中央制御架	[redacted]	2	台	[redacted]	
ATO駅装置	[redacted]	35	台	[redacted]	
ATO中継器	[redacted]	69	台	[redacted]	
有電源地上子	[redacted]	69	台	[redacted]	
無電源地上子	[redacted]	203	台	[redacted]	
限界支障検知装置	[redacted]	93	台	[redacted]	
UPS内臓バッテリー交換	[redacted]	26	台	[redacted]	6年周期部品交換
定期交換部品(コンバータ・モデム等)		1	式	[redacted]	6年周期部品交換
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税(8%)		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

(2　前年度から変更・見直しした点)

H24年度までは複数年契約(3年)で実施していましたが、H25年度からは単年度契約で実施しています。
検査内容の見直しにより、2か年検査のみ外注委託とし、1か年検査は直営で実施することでコスト削減を図っています。
オンコール契約は行わず、故障時は別途修理対応としています。

(3　根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第58条(自動運転するための装置)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4　年次表)

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越(外数)	0	0	0	0	0	0
事　業　費	0	[redacted]	0	[redacted]	0	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 35　電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

7　案内表示器保守業務委託

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

案内表示器は、お客様に対して列車運行状況を案内表示し、適切な旅客サービスを提供するための設備です。
各駅に設置している案内表示器の安定動作を確保するために2か年検査を実施し、予防保全により機器故障の発生を防止します。

点検内容:外観、電源電圧測定、機能試験、LED表示確認試験の実施

※　H27年度2か年検査:全120台のうち21台＋案内表示器中央装置

※　H28年度2か年検査:全209台（27年度に89台増設）のうち27台＋案内表示器中央装置（かし対応）

※　H29年度2か年検査:全209台のうち58台

※　H30年度2か年検査:全209台のうち52台＋案内表示器中央装置

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
案内表示器点検（片面）	[redacted]	10	台	[redacted]	昼間作業にて積算
案内表示器点検（両面）	[redacted]	17	台	[redacted]	昼間作業にて積算
案内表示器中央装置	[redacted]	0	台	[redacted]	かし対応
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2　前年度から変更・見直しした点）

H24年度までは複数年契約（3年）で実施していましたが、H25年度からは単年度契約で実施しています。
オンコール契約は行わず、故障時は別途修理対応としています。
また、H22年度から案内表示器点検の2/3を直営化しました。
H27年度実施の快速運転化に伴い、23駅のホームに案内表示器を89台増設し、合計209台になりました。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

信号通信設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	1,604	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】	計画額
8　その他機器修理	3,547

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

信号保安設備の機能維持のため、異常発生時に緊急修理により列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般（湘南台～あざみ野間＝13機器室＋2車両基地＋1上永谷弱電＋1司令所＝17機器室）
軌道回路装置・連動装置・ＡＴＣ装置・信号モニタ装置・ＣＴＣ装置・運行管理システム・電源装置・案内表示器
ＡＴＯ装置・ホーム柵設備
＊信号機器室　計＝17　01あざみ野・02センタ北・03新羽・04新横浜・05片倉町・06横浜・07関内・08長者町・09上大岡・10上永谷・11戸塚・12上永谷車両基地・13上永谷弱電機器室・14司令所・15新羽車両基地・16踊場・17湘南台

〇過去の主な修理内容

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
無絶縁ATC送信ユニット修理	[redacted]	8	台	[redacted]	8件／年
無絶縁TD受信ユニット修理	[redacted]	4	台	[redacted]	4件／年
電子連動装置　電子端末ユニット修理	[redacted]	4	台	[redacted]	4件／年
ATO装置ユニット修理	[redacted]	4	台	[redacted]	4件／年
電源装置　接地検出器修理	[redacted]	1	台	[redacted]	1件／年
信号モニタ装置修理	[redacted]	1	台	[redacted]	1件／年
案内表示器修理	[redacted]	4	台	[redacted]	4件／年
小計				3,284	
消費税(8%)		1	式	263	
合計				3,547	

（2 前年度から変更・見直しした点）

運用開始後30年以上経過した設備の経年劣化対策として信号更新計画を進めていますが、ワンマン運転化支援設備などの新規設備が増加しており、昨年度と税抜金額で同額の費用としています。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A-B)
予算額	19,523	35,228	△ 15,705

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	651

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

信号保安設備の機能の維持、予防保全による列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般の維持管理に伴う材料費など

信号保安施設全般（日吉～中山間＝10機器室＋1車両基地＋1司令所＝12機器室）

軌道回路装置・連動装置・ＡＴＣ装置・信号モニタ装置・運行管理システム・電源装置・案内表示器

ワンマン化によるＡＴＯ装置類及びホーム柵設備

＊信号通信機器室 01日吉・02本町・03高田・04東山田・05北山田・06センター北・07センター南

計＝12　08都筑・09川和町・10中山・11川和車両基地・12司令所

○購入予定

項目	用途・目的	積算額
レールボンド	レールに帰線電流を流す	[redacted]
軌条絶縁(絶縁継目)	信号回路の構成用	[redacted]
アセチレンガス充填	レールボンド取付用	[redacted]
除湿・乾燥材	転てつ機内部の除湿用	[redacted]
非常機材	川和電気区の整備	[redacted]
計		602
消費税(8%)		49
合計		651

（2 前年度から変更・見直しした点）

来年度も保守区予備品を使用することによって増加はありません。

レールボンド、非常用機材の保管在庫数を見直ししました。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)

横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 35　電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

2　4号線運行管理システム保守業務委託

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。

この機能を維持するため、2か年検査や定期部品交換、製造メーカーによるオンコール契約を行うものです。

総合司令所設置機器
- ・中央処理装置
- ・運行表示盤

4号線各駅設置機器
- ・PTC駅装置（10台）
- ・案内表示器（80台）

※　H27年度：2か年検査を実施、オンコール保守、定期部品交換（液晶ランプ、フィルター、HDD）（単年度契約）

※　H28年度：2か年検査はなし、オンコール保守、定期部品交換（液晶ランプ）（単年度契約）

※　H29年度：2か年検査を実施、オンコール保守、定期部品交換（液晶ランプ、フィルター、HDD）（単年度契約）

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
運行管理システム　オンコール費	[redacted]	1	式	[redacted]	メーカーオンコール
定期検査（2か年検査）	[redacted]	0	式	[redacted]	中央装置、駅装置、表示盤
定期交換部品、予備品	[redacted]	1	式	[redacted]	液晶ランプほか
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2　前年度から変更・見直しした点）

検査周期の見直しにより定期検査を2か年周期で実施しており、H28年度は定期検査を実施しません。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	9,415	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

3　転てつ装置点検整備

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

転てつ装置は、停車場構内にて列車入換の際に所定の番線に進行させるための転換装置で、信号保安装置と連動して安全を確保しています。
この機能を維持するために、点検周期に基づき分解点検および定期点検を行い、列車の安全運行を確保します。

電気転てつ機を予備品と交換して受託工場に搬出し、分解点検および部品交換を行います。

※ H28年度整備箇所（全44台のうち今回4箇所）
・営業線分　（4台）：中山（2）、日吉（2）
・車両基地分　（0台）

○更新予定

年度		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
転てつ装置	営業線	4台	4台	6台	5台	4台
	車両基地	0台	0台	0台	7台	8台

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
転てつ装置分解点検整備（営業線分）	[redacted]	4	台	[redacted]	
転てつ装置蓋部品交換	[redacted]	1	個	[redacted]	
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2 前年度から変更・見直しした点）

GLの開業から9年が経過し、H27年度からGLも転てつ器の分解点検が開始となりました。
今回は日吉、中山の2駅分の計4台が分解点検対象となります。
H28年度は定期交換部品が少ないため、昨年度より定期交換部品分が減額になります。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	11,008	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 35　電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】　計画額

4　軌条絶縁及びレールボンド点検整備

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

走行レール間の継目部には、レールを電気的に接続するレールボンドや、継目部で電気的に分割して軌道回路を構成する軌条絶縁があります。これらが健全でなくなると、信号保安設備の根幹である列車検知や列車の速度制御を行うＡＴＣの機能に支障が発生して、列車の運行ができなくなります。

これらを点検して予防保全を行うことによって、列車の安全運行を確保します。

日吉～中山間＋川和車両基地の点検を実施する。

※　H27年度点検、軌条絶縁点検箇所合計:323箇所　（普通絶縁継目255＋接着絶縁継目68）
レールボンド点検箇所合計:698箇所

※　H28年度点検、軌条絶縁点検箇所合計:323箇所　（普通絶縁継目255＋接着絶縁継目68）
レールボンド点検箇所合計:698箇所

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
軌条絶縁点検整備作業	[redacted]	323	か所	[redacted]	4号線全か所
レールボンド点検整備作業	[redacted]	698	か所	[redacted]	4号線全か所
軌条絶縁分解点検作業	[redacted]	4	か所	[redacted]	
レールボンド補修(取付)作業	[redacted]	12	本	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税(8%)		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2　前年度から変更・見直しした点）

点検整備を責任施工で点検を行うことにより、電気区職員の立会い業務を縮減しました。
車両基地内については昼間に点検作業を行い、作業費を削減しています。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	2,737	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】	計画額
5　無停電電源装置定期点検	[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

無停電電源装置は、信号保安設備である連動装置、ATC装置などに安定した電源を供給するための重要な装置です。
健全な機能を維持するために、点検周期に基づいた1か年検査を行い列車の安全運行を確保します。
点検内容:外観、電圧、電流測定、蓄電池放電試験、故障出力試験の実施

＊信号通信機器室 01日吉・02本町・03高田・04東山田・05北山田・06センター北・07センター南
計＝11　08都筑・09川和町・10中山・11川和車両基地

※ 平成27年度点検　11台の電源装置1か年検査＋定期部品交換（単年度契約）

※ 平成28年度点検　11台の電源装置1か年検査（単年度契約）

※ 平成29年度点検　11台の電源装置1か年検査（単年度契約）

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
CVCF1か年検査	[redacted]	11	台	[redacted]	信号機器室電源
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税(8%)		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2 前年度から変更・見直しした点）

単年度契約
H24年度から分離分割発注を実施し、BL・GLを分割して発注しています。
H28年度は定期部品交換がありませんので、昨年度より定期交換部品が減額になります。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	4,315	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者:

【事業内容】	計画額
6　その他機器修理	1,420

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

信号保安設備の機能維持のため、異常発生時に緊急修理により列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般（日吉～中山間＝10機器室＋1車両基地＋1司令所＝12機器室）
軌道回路装置・連動装置・ＡＴＣ装置・信号モニタ装置・運行管理システム・電源装置・案内表示器
ＡＴＯ装置類・ホーム柵設備
＊信号通信機器室 01日吉・02本町・03高田・04東山田・05北山田・06センター北・07センター南
計＝12　08都筑・09川和町・10中山・11川和車両基地・12司令所

〇過去の主な修理内容

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
無絶縁ATC送信ユニット修理	[redacted]	2	台	[redacted]	2件／年
無絶縁TD受信ユニット修理	[redacted]	1	台	[redacted]	1件／年
ATO装置ユニット修理	[redacted]	2	台	[redacted]	2件／年
電源装置修理	[redacted]	1	台	[redacted]	1件／年
信号モニタ装置修理	[redacted]	1	台	[redacted]	1件／年
案内表示器修理	[redacted]	2	台	[redacted]	2件／年
小計				1,314	
消費税（8%）		1	式	106	
合計				1,420	

（2 前年度から変更・見直しした点）

開業後9年となりますが、昨年度の機器修理の状況を踏まえて、昨年度と税抜金額を同額とします。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 事業開発課 担当者: 横田・宮田

（単位:千円）

	28年度　A	27年度　B	増減(A−B)
予　算　額	[redacted]	0	[redacted]

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　野庭職員住宅消防設備点検	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

野庭職員住宅は、平成27年度末で廃止予定となっており、平成28年度以降は事業開発課で資産活用していくため、消防法に基づいた点検整備を行い安全な施設の提供を維持します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

消防法　第17条3の3

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A−B)
予算額	122,474	114,121	8,353

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	12,149

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

・電気区の保守用電気材料の購入
・蛍光ランプ類（委託作業支給品、保守用）の購入
・防災機器・設備用バッテリーの購入
・照明器具補修用部品（安定器）の購入
・サードレール関連材料（碍子帽、中心皿、短枕木、コーチボルト、碍子用パッキン等）の購入

○購入予定　（千円）

項目	合計金額
保守用電気材料費(電線、ｹｰﾌﾞﾙ、照明器具、ｽｲｯﾁ、ｺﾝｾﾝﾄ、電線管)	12,149
蛍光ランプ類	
防災盤バッテリー	
防災設備材料（感知器、誘導灯等）	
サードレール関連材料（碍子帽、中心皿、短枕木、コーチボルト、碍子用パッキン）	

（2 前年度から変更・見直しした点）

（概要）

・蛍光ランプの購入については電気区と在庫数量の確認を行い、購入数量は必要最低限のものとしています。また不足が生じた都度、必要な数量を購入するようにし、余剰な在庫を購入しないようにしています。
・ホーム階で使用する照明は、鉄道の運行に必要な機器に影響を与えないよう注意する必要があります。（省エネ型照明(Hf型照明)やLED照明は、列車無線に影響を与える懸念があり、設置の際は、列車無線に影響を与えない検証を行い設置しています。）
・防災盤バッテリー、防災設備材料は消防設備点検において劣化または不良と判定された箇所において、材料を購入し直営で補修します。

（課題）

駅構内の接客部分の管球は定期的に交換しています。それが材料費の7割以上を占めています。（駅事務室や倉庫などは球切れの都度交換しています。照度低下による事前交換は行ないません。）

（目標）

蛍光ランプは長期間使用すると照度が落ちてしまうために、切れる前に交換することで常に必要な照度を保ちお客様のサービスに努めます。環境負荷への低減を考慮し、管球購入のグリーン購入対象品について100%実施します。

（これまでの取り組み）

交換を行った蛍光ランプのうち比較的状態の良い管球は、廊下や機械室などのバックヤードで使用する蛍光灯の交換等に再利用することで、材料費の削減に取り組んでいます。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	13,833	12,149				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

2　消防設備点検整備

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

高速鉄道ブルーラインの駅舎及び変電所等に設置されている消防設備の防災機能保持のため、消防法に基づいた点検整備を行い安全な施設の提供を維持します。

（点検場所）

駅消防設備32駅
車両基地2か所
変電所18か所

※ グリーンラインのセンター南、センター北駅の防災設備は、ブルーライン駅舎の防災設備と一体であるため、ブルーラインの委託点検で実施します。

（点検内容）

自動火災報知設備、防災設備及び誘導灯、非常電源受電設備の点検

（2 前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】

消防用設備は、火災等の災害時にお客様の生命を守る重要な設備として、常に正常に動作する事が求められます。
そのため法に基づいた周期で点検を行い、設備の健全性維持に努めます。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

・消防法　第17条3の3
・横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	17,237					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

3　高速鉄道電気設備点検

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

ブルーラインの駅電気設備と電気室設備について、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき年次点検（1か年、2か年検査）を行います。

【点検対象駅】

ブルーラインの32駅および2車両基地、34か所のうち 26か所を委託点検対象とし他の駅については、直営にて点検を実施します。

No.	駅名	No.	駅名	No.	駅名	No.	駅名
1	湘南台	10	上永谷基地	19	桜木町	28	新羽基地
2	（直営）下飯田	11	港南中央	20	高島町	29	新羽
3	立場	12	上大岡	21	横浜	30	（直営）仲町台
4	中田	13	（直営）弘明寺	22	三ツ沢下町	31	センター南
5	踊場	14	蒔田	23	三ツ沢上町	32	センター北
6	戸塚	15	吉野町	24	（直営）片倉町	33	中川
7	（直営）舞岡	16	（直営）阪東橋	25	（直営）岸根公園	34	あざみ野
8	下永谷	17	伊勢佐木長者町	26	新横浜		
9	上永谷	18	関内	27	（直営）北新横浜		

※網掛けの駅は、技術力維持や経費削減を目的に、直営点検を実施します。

【点検内容】

電気室1か年検査 ： 変圧器外観点検、継電器外観点検、断路器外観点検 他
電気室2か年検査 ： 1か年検査の内容に加えて、各機器絶縁抵抗測定、継電器特性試験 他
電気室6か年検査 ： 絶縁油劣化測定（変圧器、断路器）
駅電気設備1か年検査 ： 分電盤外観点検、非常灯機能点検 他
駅電気設備2か年検査 ： 1か年検査の内容に加えて、各配線絶縁抵抗測定、設置抵抗測定 他

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	20,873					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
4　駅照明器具清掃及び蛍光ランプ等交換作業	29,988

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

安全・快適な駅施設を維持するため照明器具の清掃と蛍光灯の交換を行ない、適切な照度を維持・確保します。なおコスト削減のため、交換する蛍光灯は、別途、保守用材料として購入したものから支給し作業を行います。

【積算の内訳】

駅数32駅

項目	金額
ランプ交換及び清掃作業費	[redacted]
消費税(8%)	[redacted]
交換用ランプ運搬費	[redacted]
消費税(8%)	[redacted]
管球リサイクル費	[redacted]
消費税(8%)	[redacted]

①＋②＋③
29,988千円

（2　前年度から変更・見直しした点）

年度による作業区間の変動（数量変動）

【前年度までの取組】

○ 交換周期を見直し、14-16か月で交換（2か月延長）し、材料費の削減に努めています。

【目標】

・蛍光ランプは長期間使用していると照度が徐々に下がり、球切れが起こります。そのため照度が著しく下がったり、蛍光ランプが切れる前に交換することで適切な照度を確保します。その結果、安全性・快適性を維持し、サービス向上に努めます。
・撤去した蛍光ランプの一部は、使用場所により使用可能なものがあります。撤去した蛍光ランプのうち、再利用が可能なものは、バス営業所や保守区事務所等、支障がない場所で再利用を行い、環境負荷の低減や廃棄・処分費の削減に努めます。また廃棄するランプは、適正な方法で処分を行ないます。

【課 題】

・東日本大震災以降の節電対策で、駅照明の一部を間引き消灯しています。現在その状態が続いており、今後も節電に取り組まなければいけない状況が続くと考えています。ただし、季節やその時の世相等、時々刻々変化する事も想像できます。以上のことから28年度の照明器具清掃の発注については、発注時期の状況を考慮し、清掃や蛍光ランプ交換の範囲を検討しながら適切な範囲・数量で発注を行い予算の縮減に努めます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

お客様へのサービスの一環として、駅構内の照度を保ち、安全性、快適性の向上を図るため、照明器具の清掃及び管球の交換を行います。また購入するランプは、グリーン購入対象品を購入し、環境負荷の低減を図ります。

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	31,439	29,988	[redacted]			
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

5　高速鉄道電気設備小工事

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

本工事は、保守区では対応が困難な場所や専門知識、特殊工具などを要する電気設備の緊急故障処置を迅速に行うために、修理単価をあらかじめ定めた年間契約を行い、施設の維持を図るための工事です。

電気設備の故障による大規模な障害の復旧、長期間のサービス低下の防止などのために本工事を活用します。

【主な実施内容（予定）】
〇幹線・照明・コンセントに関する修理・改修工事
〇非常灯・誘導灯・表示灯・広告灯に関する修理・改修工事
〇自動火災報知に関する修理・改修工事
〇通信等に関する修理・改修工事

（2　前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】
故障対応は保守区の直営補修が原則ですが、故障状況を十分に把握・精査し、必要最低限の補修依頼をする事で経費の縮減に努めます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得
電気設備技術基準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	4,968	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

6　直流電源装置点検

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

電気室機器の制御用および非常灯の電源を供給する直流電源装置の性能維持、機器の正常稼働の確保を目的とし、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき、精密点検（3か年点検）を行います。

【28年度の主な内容】

ブルーライン全35台のうち、28年度は、以下の9台について点検を実施します。

No.	駅名	No.	駅名
1	舞岡	6	関内
2	上大岡	7	桜木町
3	弘明寺	8	高島町
4	蒔田	9	新羽車両基地
5	吉野町		

【28年度及び、今後の点検台数（計画）】

28年度	29年度	30年度
9台	12台	14台

【主な点検・整備項目】

・出力電圧波形観測
・シーケンステスト
・内部抵抗測定
・絶縁抵抗測定

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	1,475	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

7　電車線路支持碍子清掃

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

サードレール支持碍子は、サードレール（電車線）を大地から電気的に絶縁し、支持する物です。その電気的絶縁性能を維持するためには、定期的に清掃する必要があります。（汚れを放置するとリークなどによる障害が発生します。）

この作業はサードレール支持碍子の清掃を定期的に行うことで、碍子の絶縁性能を維持します。

なお、23年の8月に下り高島町～桜木町間で、リークによる碍子焼損が原因の運行障害を発生させてしまい、その後特殊区間として事故を未然に防止するため、特に環境が悪い区間を重点的に行っています。

【実施区間（定期的区間及び特殊区間）】

(1)定期的区間（年1回）

28年度実施区間 ： 新横浜～あざみ野

(2)特殊区間（年複数回）

特殊区間A：上下線　吉野町～桜木町間（3回/年）

特殊区間B：上下線　桜木町～高島町間（5回/年）、下り線のみ　桜木町～高島町間（2回/年）

特殊区間C：上下線　高島町～横浜間（2回/年）

特殊区間D：上下線　横浜～三ツ沢下町間(シールド部手前まで)（4回/年）

●･･･ 実施月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定期的区間		●										
特殊区間A		●		●		●						
特殊区間B		●	●（下りのみ）	●	●（下りのみ）	●			●			●
特殊区間C		●		●								
特殊区間D		●		●		●			●			

（2　前年度から変更・見直しした点）

汚損状況から、特殊区間をA～Dに分類し、作業回数を増加した

【課題・目標】

23年8月10日、下り高島町～桜木町間で、リークによる碍子焼損が原因の運行障害を発生させてしまいました。

今後、この様なリーク等の事故を未然に防止するため、特に環境の悪い所は清掃回数をさらに増やすこと等で電気的な絶縁性能を維持し事故防止に努めます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準（電気編）：漏洩電流を電車線1キロメートルにつき、100mA以下に抑える

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	14,579					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款: 02　高速鉄道事業費	項: 01　営業費用	目: 20　電路保存費	所属: 電気課
節・細節: 36　電力線設備修繕費			担当者: 加藤

【事業内容】　　計画額

8　電車線路補修工事

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

保守区では技術的に補修が困難な、電車線設備（サードレール、支持物、防護物等）を補修する工事です。このことにより列車の正常な運行を維持・確保します。

【主な事業内容】
・直営では対応が困難なサードレール交換や補修、特殊工具・機器を使用する専門的補修工事を実施しています。
（ハツリを伴う短枕木の交換、腐食が進行しており直営での交換が困難な腕金の交換作業、アンカーリング用フック棒の交換など）

（2　前年度から変更・見直しした点）

保守区で保有する資材の必要確保数量の見直しや、資材の活性化を目的に一部の資材を支給することで、工事費の削減を図っています。その結果、より広い範囲の補修が行えるよう取り組んできました。一方、設備の老朽化が進行している中で、今まで以上、広範囲の箇所の補修を行なわなければならない状況となっています。そのため今年度より、補修箇所、数量を見直してきました。
一方、今までの修繕補修工事で対応しきれていない、補修が必要な老朽化箇所が増加傾向にあるため補修数量を増としました。

【課題・目標】
補修が必要な区間から、限られた経費の中で有効な補修が行えるよう、緊急性・重要度等を勘案し、優先順位を判断し補修を行っています。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	8,080					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
9　変電所機器点検整備作業(北の谷変電所ほか2か所)	

中期経営計画　ー

(1　事業目的・内容)

ブルーライン変電所の受電用、配電用、き電用の各遮断器等の動作・機能を維持するため、細密点検(6か年検査)を実施します。

28年度は、北の谷変電所の直流高速度しゃ断器(HSCB)、上永谷変電所の22kV真空しゃ断器、点検および上永谷駅に設置してある高圧区分開閉器の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

点検実施場所	内　訳
北の谷変電所	直流高速度遮断器
上永谷変電所	22kV真空しゃ断器点検
上永谷駅	**高圧区分開閉器点検**

【積算の内訳】

作業箇所	種別	対象機器	価格[千円]
北の谷変電所	DC750V	直流高速度遮断器	ー
上永谷変電所	AC22kV	真空しゃ断器	ー
北新横浜駅	**AC6.6kV**	**高圧区分開閉器**	

※北新横浜駅の点検に関しては電路設備修繕費案件それ以外は変電所設備修繕費案件

(2　前年度から変更・見直しした点)

【これまでに行った取り組み】

【課題・目標】

変電所には製造から30年を経過する機器もあり老朽化が進んでいますが、計画的に細密点検を実施することで、機能の維持を図り、列車運行に影響を与えるような障害の発生の防止に取り組んでいます。

(3　根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4　年次表)

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越(外数)	0	0	0	0	0	0
事　業　費	1,329		0	0	0	
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
10　その他機器修理	308

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

故障品及び保守基準値から外れた機器の修理を行い、機能保持、安全運行の確保を行ないます。

【主な内容】（今までの取り組み内容）
〇専門資格・知識を必要とする、自動火報報知設備（受信機、感知機）の修理など
〇特殊部品を必要とする、防災盤設備の修理など

（2　前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】
〇 保守区の直営補修を積極的に行なっていますが、各機器・設備の経年劣化が進行しており毎年、一定の外注修理が発生している状況にあります。
〇 前年度と同様、想定外の機器修理が生じた場合は、その都度、経営企画課と相談し、対応することとします。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	308	308				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A−B)
予算額	26,218	34,815	△ 8,597

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	7,754

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

・電気区の保守用電気材料の購入
・蛍光ランプ類（委託作業支給品、保守用）の購入
・非常機材（電車線用復旧材料）の購入
・電車線材料（電線、碍子、金物等）の新規購入
・架線測定装置用消耗部品の購入

○購入予定　（千円）

項目	積算額
保守用材料費(電線、ｹｰﾌﾞﾙ、照明器具、ｽｲｯﾁ、ｺﾝｾﾝﾄ、電線管)	7,754
蛍光ランプ類	
防災盤バッテリー	
非常機材（電車線用復旧材料）	
電車線関連材料（支持碍子、金物）の補充購入	
架線測定装置用消耗部品	
税 8%	

（2 前年度から変更・見直しした点）

消費税8%

（概要）

・蛍光ランプの購入については電気区と在庫数量の確認を行い、購入数量は必要最低限のものとしています。また不足が生じた都度、必要な数量を購入するようにし、余剰な在庫を補修しないようにしています。
・ホーム階で使用する照明は、鉄道の運行に必要な機器に影響を与えないよう注意する必要があります。（省エネ型照明(Hf型照明)やLED照明は、列車無線に影響を与える懸念があり、設置の際は、列車無線に影響を与えない検証を行い設置しています。）
・防災盤バッテリー、防災設備材料は消防設備点検において劣化または不良と判定された箇所において、材料を購入し直営で補修します。

（課題）

駅構内の接客部分の管球は定期的に交換しています。それが材料費の7割以上を占めています。（駅事務室や倉庫などは球切れの都度交換しています。照度低下による事前交換は行ないません。）

（目標）

蛍光ランプは長期間使用すると照度が落ちてしまうために、切れる前に交換することで常に必要な照度を保ちお客様のサービスに努めます。環境負荷への低減を考慮し、管球購入のグリーン購入対象品について100%実施します。

（これまでの取り組み）

交換を行った蛍光ランプのうち比較的状態の良い管球は、廊下や機械室などの蛍光灯交換等に再利用することで、材料費の削減に取り組んでいます。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	9,402	7,754				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
2　消防設備点検整備	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

高速鉄道の駅舎及び変電所等に設置されている消防設備の防災機能保持のため、消防法に基づいた点検整備を行い安全な施設の提供を維持します。

（点検場所）

駅消防設備　8駅※
車両基地　1か所
変電所　3か所

※ グリーンラインのセンター南、センター北駅の防災設備は、ブルーライン駅舎の防災設備と一体であるため、ブルーラインの委託点検で実施します。

（点検内容）

自動火災報知設備、防災設備及び誘導灯、非常電源受電設備の点検

（2　前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】

消防用設備は、火災等の災害時にお客様の生命を守る重要な設備として、常に正常に動作する事が求められます。
そのため法に基づいた周期で点検を行い設備の健全性維持に努めます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

・消防法　第17条3の3
・横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	4,200	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
3　駅照明器具清掃及び蛍光ランプ等交換作業	3,852

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

安全・快適な駅施設をお客様に提供するために、照明器具の清掃を行ない必要照度を確保していきます。
また清掃と同時に材料費で購入した、管球を支給し交換することで、適正照度を確保しお客様へのサービス向上に取り組みます。

【積算の内訳】

駅数 8駅 ※

項目	金額
ランプ交換及び清掃作業費	[redacted]
消費税(8%)	
交換用ランプ運搬費	[redacted]
消費税(8%)	
管球リサイクル費	[redacted]
消費税(8%)	

①＋②＋③
3,852千円

※ グリーンラインのセンター南、センター北駅については、ブルーラインの照明設備として清掃作業を行います。
（電源の供給元が、ブルーラインの各駅電気室から供給されているため）

（2 前年度から変更・見直しした点）

年度による作業区間の変動（数量変動）

【前年度までの取組】

〇21年度から交換周期を見直し、14-16か月で交換（2か月延長）し、材料費の削減に努めています。
〇24年度から1号線・3号線・4号線に分割発注を行い、市内業者の参入機会拡大に努めています。

【目標】

・蛍光ランプは長期間使用すると照度が落ちてしまうため、切れる前に交換することで常に照度を一定以上に保つことが出来、お客様へのサービス向上に努めます。
・撤去した蛍光管のうち使用可能なものは、バス営業所や保守区事務所への再利用を行い、環境負荷低減ともに経費の削減を行います。また廃棄ランプは、適正な方法で処分を行ないます。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	5,670	3,852	[redacted]			
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
4　高速鉄道電気設備小工事	[redacted]

中期経営計画　お客様に向けて(3)地下鉄施設の計画的補修

(1　事業目的・内容)

本工事は、保守区では対応が困難な場所や専門知識、特殊工具などを要する電気設備の緊急故障処置を迅速に行うために、修理単価をあらかじめ定めた年間契約を行い、施設の維持を図るための工事です。

電気設備の故障による大規模な障害の復旧、長期間のサービス低下の防止などのために本工事を活用します。

【主な実施内容(予定)】
○幹線・照明・コンセントに関する修理・改修工事
○非常灯・誘導灯・表示灯・広告灯に関する修理・改修工事
○自動火災報知に関する修理・改修工事
○通信等に関する修理・改修工事

(2　前年度から変更・見直しした点)

【課題・目標】
故障対応は保守区の直営補修が原則ですが、故障状況を十分に把握・精査し、必要最低限の補修依頼をする事で経費の縮減に努めます。

(3　根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得
電気設備技術基準

(4　年次表)

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越(外数)	0	0	0	0	0	0
事業費	1,296	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
5　高速鉄道電気設備点検整備	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

グリーンラインの駅電気設備と電気室設備について、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき年次点検（1か年、2か年検査）を行います。

【点検対象駅】

グリーンラインの8駅を委託点検対象とし、川和車両基地については直営作業にて点検を実施します。
※ グリーンラインのセンター南、センター北駅については、ブルーラインの各駅電気設備として点検を行います。
（電源の供給元が、ブルーラインの各駅電気室から供給されているため）

No.	駅名	No.	駅名	No.	駅名	No.	駅名
1	中山	4	都筑	7	北山田	10	日吉本町
2	川和町	5	センター南	8	東山田	11	日吉
3	(直営)川和基地	6	センター北	9	高田		

※網掛けの駅は、技術力維持や経費削減を目的に、直営点検を実施します。

【点検内容】

電気室1か年検査　：　変圧器外観点検、継電器外観点検、断路器外観点検　他
電気室2か年検査　：　1か年検査の内容に加えて、各機器絶縁抵抗測定、継電器特性試験　他
駅電気設備1か年検査　：　分電盤外観点検、非常灯機能点検　他
駅電気設備2か年検査　：　1か年検査の内容に加えて、各配線絶縁抵抗測定、設置抵抗測定　他

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	10,133	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

6　直流電源装置点検整備

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

電気室機器の制御用である直流電源装置の性能を維持し、機器の稼働を確保するため高速鉄道の電気室に設置してある直流電源装置について、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき、メーカー技術者による3か年精密点検を行います

【28年度の主な内容】

28年度は、グリーンラインの電気室8か所（センター南・北駅は除く）および川和車両基地電気室2か所について実施します。

年度	28年度	29年度	30年度
点検数	10台	0台	0台

【主な点検・整備項目】

充電時間制御電池充電電圧測定
回復充電時間の測定
圧力検出装置の動作確認
シーケンステスト

・直流電源装置（蓄電池設備）は、非常時に非常灯を点灯させたり、電気室の機器を制御する役割を持っています。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）※27年度は、点検機器なし

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	0	[redacted]	0	0	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

7　電車線碍子清掃

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

電車線の碍子は電車線を構造物から絶縁するために設備されているため、碍子が汚れ絶縁性能が低下すると漏電等の事故につながったり、構造物に電気が漏れ埋設配管を腐食・損傷させるなど他の事業者へ被害を及ぼす原因となる事もあります。このため電車線路を支持する碍子を定期的に清掃する事により、漏電等の事故防止や構造物への漏れ電流の低減を行います。

【実施区間】

22年度実施区間:中山～北山田(上り線)
23～26年度実施区間:汚損状況把握のため事業見送り
27年度実施区間:東山田～日吉(上り線)
28年度実施区間:日吉～北山田(下り線)及び北山田～東山田(上り線)

[内訳]

区間	距離[km]	個数[個]	価格「千円]
日吉～北山田(下り線)	5.477	1159	[redacted]
東山田～北山田(上り線)	1.495	289	

（2 前年度から変更・見直しした点）

23～26年度は、現状の汚損状況や汚損の進行等を把握するため作業を見送りました。
27年度から再開します。
28年度は27年度の残及び次区間を実施します。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	3,085	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 36　電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
8　その他機器修理	1,029

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

故障品及び保守基準値から外れた機器の修理を行い、機能保持、安全運行の確保を行ないます。

【主な内容】（今までの取り組み内容）
〇緊急かつ多人数を要する、架空電車線設備の修理
〇専門資格・知識を必要とする、自動火報報知設備（受信機、感知機）の修理
〇特殊部品を必要とする、防災盤設備の修理　など

（2　前年度から変更・見直しした点）

消費税8%
【課題・目標】
〇 保守区の直営補修を積極的に行なっていきますが、開業から5年以上が経過し、電力設備の修理が必要な事が想定されます。
〇 25年度の架空電車線設備の修理実績額を計上しました。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	1,029	1,029				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A−B)
予算額	72,411	67,371	5,040

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	980

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

変電所及び総合司令所（電気司令）の故障した機器や維持管理に必要な材料等を購入します。

【業務の内容】

○変電所設備の機器及び材料の購入
○司令所の電力管理システム及び設備司令システムの機器及び材料の購入

【積算内訳】

項目	数量	価格[千円]
保守用材料費	1式	980
フィルター	1式	
消費税(8%)	1式	

（2 前年度から変更・見直しした点）

○ 今後も在庫数量を適正に管理し、余分な在庫を持たないことで経費の削減に努めます。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	1,030	980				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

2　直流電源装置点検

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

変電所機器の正常稼働を行うための制御用電源を給電する直流電源装置の性能維持、機器の正常稼働の確保を目的に、精密点検（3か年点検）を行います。

【28年度の主な内容】

ブルーラインの18変電所及び総合司令所に設置されている 24台の直流電源装置のうち、28年度は以下の7台の点検と1台の部品交換を実施します。

【点検を実施する変電所】

① 舞岡変電所　② 笹下変電所　③ 蒔田変電所　④ 関内変電所　⑤ 関内変電所発電機室
⑥ 片倉変電所　⑦ 片倉変電所発電機室　⑧ 総合司令所

【28年度及び次年度以降の計画】

年度	28年度	29年度	30年度
点検数	8台	5台	13台

【主な点検・整備項目】

・出力電圧波形観測
・シーケンステスト
・内部抵抗測定
・絶縁抵抗測定　などを実施

（2 前年度から変更・見直しした点）

・点検周期による点検対象数の変更

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	1,370					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

3　換気エアーフィルター交換洗浄作業

[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

ブルーラインの各変電所（17か所）の換気設備に使用しているエアーフィルターの交換及び洗浄を行い、変電所内の健全な環境を維持します。

【業務の目的】

変電所は、機器の温度上昇を防止するために一定温度で換気を行っています。そのため、外部からの粉塵の進入による変電機器の故障を防止するため、防塵用エアフィルターを取り付けています。

本業務は、その防塵用フィルターを交換・洗浄し、変電所内を良好な環境に維持し、機器の故障防止や延命化を図るものです。

【積算の内訳】

項　目	数量	価格［千円］
交換洗浄費	17 箇所	[redacted]
消費税（8%）	一式	

※ 新たに購入するフィルターは、分離・分割の取組に基づき、材料として別途、購入します。

（2 前年度から変更・見直しした点）

・擦り切れたフィルターの撤去増
・上記の洗浄減

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	1,519	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

4　変電所機器点検整備（北の谷変電所ほか2か所）

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

変電所の受電用、配電用、き電用の遮断器や電車に電力を供給する整流器等の分解点検（6か年検査）並びに消耗部品の交換等を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

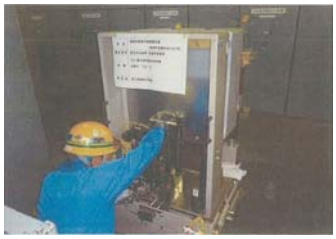
27年度は、北の谷変電所の直流高速度しゃ断器（HSCB）、上永谷変電所の22kVしゃ断器の細密点検及び上永谷駅に設置してある高圧区分開閉器の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

点検実施場所	内　訳
北の谷変電所	直流高速度遮断器点検
上永谷変電所	22kV真空しゃ断器点検
上永谷駅	高圧区分開閉器点検

※上永谷駅の点検に関しては電路設備修繕費案件

【機器点検の様子】



（2　前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】

変電所によっては、製造から30年を経過する機器もあり、老朽化が進んでいますが、計画的に細密点検を実施することで、機能の維持を図り、列車運行に影響を与えるような障害の発生の防止に取り組んでいます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	0					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

5　変電所機器点検整備（舞岡変電所ほか1か所）

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

変電所の受電用、配電用、き電用の遮断器や電車に電力を供給する整流器等の分解点検（6か年検査）並びに消耗部品の交換等を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

28年度は、舞岡変電所の66kVガス絶縁開閉装置（GCB）、整流器分解点検及び荏田変電所のき電用「直流高速度しゃ断器」の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

点検実施場所	内　訳
舞岡変電所	66kVガス絶縁開閉装置点検
	整流器分解点検
荏田変電所	直流高速度しゃ断器点検

【機器点検の様子】

（2　前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】

変電所によっては、製造から30年を経過する機器もあり、老朽化が進んでいますが、計画的に細密点検を実施することで、機能の維持を図り、列車運行に影響を与えるような障害の発生の防止に取り組んでいます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	5,662					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

6　変電所機器点検整備（蒔田変電所ほか1か所）

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

変電所の受電用、配電用、き電用の遮断器や電車に電力を供給する整流器等の分解点検（6か年検査）並びに消耗部品の交換等を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

28年度は、蒔田変電所の特別高圧用しゃ断器（66kV用・22kV用）、き電用しゃ断器（DC750V用）及び牛久保変電所の受電用しゃ断器（22kV用）、発電機用しゃ断器（6.6kV用）の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

点検実施場所	内　訳
蒔田変電所	66kVガス絶縁開閉装置
	22kV真空しゃ断器点検
	直流高速度しゃ断器
牛久保変電所	22kV真空しゃ断器点検
	6kV真空しゃ断器点検

【機器点検の様子】

（2　前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】

変電所によっては、製造から30年を経過する機器もあり、老朽化が進んでいますが、計画的に細密点検を実施することで、機能の維持を図り、列車運行に影響を与えるような障害の発生の防止に取り組んでいます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	16,524					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

7　電力管理システム点検整備

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

電力管理システムは、総合司令所から、無人の変電所の機器操作や制御、監視等を遠隔で行うための装置です。このシステムにより、ブルーラインの18変電所の制御や運転が正確に行え、列車の定時性確保に結び付いています。

本件は、ブルーラインの各変電所及び総合司令所に設置されている伝送装置、中央処理装置、制御端末等の点検を実施するものです。

（2　前年度から変更・見直しした点）

・26年度末に、「設備司令システム」の更新が完了しましたが、27年度に引き続き、「設備司令システム」については直営点検で対応します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	4,189					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

8　変電所交流設備点検

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

ブルーライン各変電所の交流設備である、配電盤、遮断器、変圧器等について、各機器の動作、機能等に異常がないかを確認するための定期点検（1か年、2か年、3か年）を行います。

28年度は、18変電所のうち下記の8変電所の点検委託を実施します。

【点検委託を実施する変電所】

No.	変電所名	No.	変電所名
1	下飯田	5	関内
2	舞岡	6	片倉町
3	最戸	7	茅ヶ崎
4	蒔田	8	牛久保

【点検内容】

変電所1か年検査　：　変圧器外観点検、交流遮断器各種試験測定、アナログ型保護継電器特性試験　他
変電所2か年検査　：　1か年検査の内容に加えて、気中キュービクル外観点検　他
変電所3か年検査　：　1、2か年検査の内容に加えて、ガス絶縁開閉装置外観点検
デジタル型保護継電器特性試験　他

（2　前年度から変更・見直しした点）

【課題・目標】

変電所によっては、製造から30年を経過する機器もあり、老朽化が進んでいますが、計画的に細密点検を実施することで、機能の維持を図り、列車運行に影響を与えるような障害の発生の防止に取り組んでいます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	8,246					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】	計画額
9　その他機器修理	3,654

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

変電所機器やそれらの監視制御を行う電力管理装置等（総合司令所設置）において、直営では対応できない故障が発生した場合に、機器の修理を委託し、列車や駅舎への電力供給が長時間に渡って支障することがないようにするものです。

【業務の目的】

突発的な故障に対して、迅速に対応し、変電所機器等の機能を正常に回復するものです。

【主な内容】（過去の主な修理の例）

- ○　変電所の遮断器の故障修理
- ○　電力管理システム大画面表示装置の故障修理
- ○　設備システム伝送装置の故障修理
- ○　変電所の保護継電器故障修理
- ○　変電所の補機類（換気設備、空気圧縮機等）の故障修理

＊平成27年度（9月時点）の修理対応実績

修理内容
茅ヶ崎変電所直流高速度しゃ断器（５４Ｆ２）修理
舞岡変電所エアフィルター用手動巻取チェーン修理
笹下変電所受電用保護継電器緊急修理
蒔田変電所直流高速度遮断器（５４Ｆ１）修理
三ツ沢変電所真空遮断器（５２－２）修理
新横浜変電所22kV真空遮断器修理

（2　前年度から変更・見直しした点）

【前年度からの見直し点】

実績に基づき、増額要求

【課題・目標】

更新推奨時期（30年）を迎えた変電所が多くなり、故障の発生頻度が増加する傾向にありますが、機器としては、まだ継続使用することが可能な状態にあります。

順次更新を進めていきますが、安易に更新するのではなく極力修理対応による延命化を図りながら、安全を維持していきます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	3,086	3,654				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A−B)
予算額	28,120	12,278	15,842

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	366

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

変電所及び総合司令所（電気司令）の故障した機器や維持管理に必要な材料等を購入します。

【業務の内容】

○変電所設備の機器及び材料の購入
○司令所の電力管理システム及び設備司令システムの機器及び材料の購入

【積算の内訳】

項目	数量	価格[千円]
保守用材料費	1式	366
パネルフィルター	1式	
消費税(8%)	1式	

※ 交換数量分を要求

【課題・目標】

・今後も、在庫数量を適正に管理し、余分な在庫を持たないことで、経費の削減に取り組みます。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4 年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	366	366				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

2　換気エアフィルター交換洗浄作業

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

グリーンラインの各変電所（2か所）の換気設備に使用しているエアーフィルターの交換及び洗浄を行い、変電所内の健全な環境を維持します。

【業務の目的】

変電所は、機器の温度上昇を防止するために一定温度で換気を行っています。そのため、外部からの粉塵の進入による変電機器の故障を防止するため、防塵用フィルターを取り付けています。

本業務は、その防塵用フィルターを洗浄・交換し、変電所内を良好な環境に維持し、機器の故障防止や延命化を図るものです。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	152					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

3　4号線変電所交流設備点検整備

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

グリーンライン各変電所の交流設備である、配電盤、遮断器、変圧器等について、各機器の動作、機能を維持するため、年次点検（1か年、2か年、3か年）を行います。
28年度についても、グリーンライン全変電所（3か所）の交流設備の委託点検を実施します。

【点検委託を実施する変電所】

No.	変電所名	No.	変電所名	No.	変電所名
1	日吉本町	2	センター北	3	川和町

【点検内容】
変電所1か年検査　：　変圧器外観点検、交流遮断器各種試験測定、アナログ型保護継電器特性試験　他
変電所2か年検査　：　1か年検査の内容に加えて、気中キュービクル外観点検　他
変電所3か年検査　：　1、2か年検査の内容に加えて、ガス絶縁開閉装置外観点検、デジタル型保護継電器特性試験　他

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	2,710					
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】	計画額
4　直流電源点検整備	[redacted]

中期経営計画　―

（1　事業目的・内容）

グリーンラインの3変電所及び総合司令所に設置している機器制御用の直流電源装置を横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき、精密点検（3年周期）及び部品交換を1台を実施します。

【業務の目的】

変電所及び司令所機器の制御電源である直流電源装置の性能を維持し、機器の安定稼働を確保します。

【点検計画】

年度	点検場所	台数
28年度	センター北変電所・川和町変電所用・GT用・ 日吉本町変電所用・GT用、総合司令所（部品交換）	6
29年度	総合司令所	1
30年度	―	0

【主な点検内容】

- ○　出力電圧波形観測
- ○　シーケンステスト
- ○　内部抵抗測定
- ○　絶縁抵抗測定

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）　※27年度は、点検なし

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	0	[redacted]	[redacted]	0	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

5　電力管理システム点検

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

電力管理システムは、総合司令所から、無人の変電所の機器の操作や制御、監視等を遠隔で行うための装置です。このシステムにより、グリーンラインの3変電所の制御や運転が正確に行え、列車の定時性確保に結び付いています。

本件は、グリーンラインの各変電所及び総合司令所に設置されている伝送装置、中央処理装置、制御端末等の点検を実施するものです。

（2　前年度から変更・見直しした点）

27年度は、司令所および保守管理所端末機器の点検および消耗部品の交換を実施しました。

28年度は、変電所および各駅の機器点検および消耗部品の交換を実施します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	8,742	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】　計画額

6　非常用発電設備点検整備

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

グリーンライン川和町変電所・日吉本町変電所に設置している非常用発電機(ガスタービン式)について、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づく3か年点検を行うと共に、部品交換を中心とした分解点検を実施します。

【主な点検項目】

原動機
- ○本体異常の有無
- ○燃料・潤滑油系統の部品交換・分解整備
- ○軸・防振系統の部品交換・分解整備
- ○始動系統の部品交換・分解整備
- ○調速・制御系統の部品交換・分解整備
- ○動力発生伝達系統・その他の点検整備

発電機
- ○外部異常の有無
- ○軸受けの点検整備
- ○各部（巻線・鉄心、界磁、その他）の点検整備
- ○絶縁抵抗測定

共通
- ○実負荷運転試験

（2　前年度から変更・見直しした点）

・前回点検（3年前）で指摘があった部品の交換を中心とした、分解点検を実施します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	0	[redacted]	0	0	[redacted]	[redacted]
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 37　変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

【事業内容】	計画額
7　その他機器修理	308

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

変電所機器やそれらの監視制御を行う電力管理装置等（総合司令所設置）において、直営では対応できない故障が発生した場合に、機器の修理を委託し、列車や駅舎への電力供給が長時間に渡って支障することがないようにするものです。

【業務の目的】

突発的な故障に対して、迅速に対応し、変電所機器等の機能を正常に回復するものです。

【主な内容】（過去の主な修理の例）

年度	項目
25	電力管理システム設備区端末修理
26	日吉本町変電所送風機修理
27	電力管理システムプリンター修理

（2　前年度から変更・見直しした点）

・前年度と同額要求とします。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	308	308				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

（単位:千円）

	28年度　A	27年度　B	増減(A−B)
予　算　額	42,643	40,988	1,655

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	489

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

保守材料のうち、変電・電路・信号・通信に属さないもの、または係共通で必要となる材料・工具・消耗品等の購入に必要な経費を計上します。

【主な購入予定材料】

・保守用自動車の保守部品
・軌道モーターカー用の保守材料・消耗品
・信号炎管等
・その他安全装備品等

【積算の内訳】

項　目	数　量	金　額	税(8%)	合計	備　考
その他材料	1式	452千円	37千円	489千円	材料費

（2　前年度から変更・見直しした点）

材料購入時には在庫数の確認・流用、購入数の確認を行ない購入することで、余剰な材料を購入しないようにし、経費の削減に取り組んでいます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	489	489				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
2　軌道モーターカー点検整備	[redacted]

中期経営計画	―

（1　事業目的・内容）

軌道用モーターカーは夜間の営業線内を走行するため、常に正常な機能・動作が求められます。このため毎年度、点検及び整備を実施し、列車運行に支障のない整備をします。
また、10年を目処に分解点検を計画し、車両の延命化を行ないます。

【主な業務内容】
電気用の軌道モーターカーはブルーライン全線で6台あり、そのうち5台を定期点検します。

【業務を実施する目的】
予防保全による車両の延命、安全な運行の確保
故障による重大事故の防止

【積算の内訳】

項目	数量	金額
定期点検	5台	[redacted]
消費税 8%		

【主な点検の内容】
○定期点検（点検項目）
燃料装置、潤滑装置、冷却装置、電気装置、動力伝達装置、エンジン、
ブレーキ装置、転向装置、走行装置、緩衝装置、クレーン、その他
○定期点検（交換部品）
エンジンオイル、ブレーキオイル、オイルフィルターエレメント、スパークプラグ、
エアーエレメント、フュエルフィルター

（2　前年度から変更・見直しした点）
・前年度と同様、定期点検の項目は自動車車検と同等の点検内容や消耗品の交換を行います。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）
・労働安全衛生規則第167条（定期自主検査）
・交通局保守用車両使用要領第28条（定期検査）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	884	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
3　計器校正その他修理	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

電気設備の保守業務で使用する、計測機器（精密級の電流計・電圧計等）の校正を行い、検査結果の信頼性を維持し、適切な設備保全を行います。

【目的】
保守管理の品質を向上させることで、施設の保全性、安全性が向上し、旅客輸送の安全確保に繋げます。

【積算の内訳】

	数量	金額	備考
計器校正費	一式	[redacted]	
消費税（8%）	一式		

（2　前年度から変更・見直しした点）
・前年度に比較して、校正周期により、対象計器の種類に変動があります。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）
・計測器管理標準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	356	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】　計画額

4　1・3号線可動式ホーム柵保守業務委託

[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また、車両の戸挟みによるひきずり事故の防止のため、自動列車運転装置（ATO）を介して車両と通信し、車両ドアと連動した開閉を行う装置です。

平成19年度のワンマン運転化に伴い、今まで毎年20件程度発生していたお客様の転落事故が平成20年度以降は0件となっています。

対象設備：可動式ホーム柵本体・総合制御盤・駅係員操作盤・乗務員操作盤・個別操作盤・駅務室監視盤

これら各設備の6ヶ月検査と1か年検査を実施し、予防保全によりホーム柵の安定動作と列車の安全運行を確保します。
また、故障が発生した場合に速やかな復旧を行うため、オンコール保守作業を行います。

※　H27年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品（外注委託）

※　H28年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品（外注委託）

※　H29年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品（外注委託）

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
可動式ホーム柵6ヶ月検査	[redacted]	32	駅	[redacted]	
可動式ホーム柵1か年検査	[redacted]	32	駅	[redacted]	
オンコール保守作業		1	式	[redacted]	
交換部品		1	式	[redacted]	LMガイド
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2　前年度から変更・見直しした点）

H21年度のかし期間終了にともない、H22年度以降はオンコール保守を計上しています。
ワンマン運転化計画当初から予定していた点検費であり、ホーム柵本体軌道面の清掃も本点検の中で実施しています。
H27年度より点検時に交換するLMガイドの費用も追加しています。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第58条（自動運転するための装置）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	38,262	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
5　その他機器修理	727

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

保守で、変電・電路・信号・通信に属さないものまたは共通の設備に関して起こった、故障等に対する修理の費用です。
電気区のモーターカーは製造から14年～20年経過し老朽化が進んでいます。そのため修理発生頻度が増加傾向にあります。
28年度は、27年度の修理状況を踏まえ、27年度と同額を計上しました。

【主な修理予定】（過去の主な修理の実績）
○保守用自動車の故障修理
○計測器の故障修理
○軌道モーターカーの故障修理

【積算の内訳】

項　目	数　量	金　額	備考
その他機器修理費	1式	673千円	前年度と同額
消費税	1式	54千円	税率 8%
	合計	727千円	

【課題と目標】
保守用車両の健全性を確保し、効率的な保守作業を行います。

（2　前年度から変更・見直しした点）
前年度と同様、想定外の修理が発生した場合は、経営企画課と相談し対応することとします。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	727	727				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

（単位:千円）

	28年度　A	27年度　B	増減(A−B)
予　算　額	28,376	10,959	17,417

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　材料費	118

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

保守材料のうち、変電・電路・信号・通信に属さないもの、または係共通で必要となる材料・工具・消耗品等の購入に必要な経費を計上します。

【主な購入予定材料】

・保守用自動車の保守部品
・軌道モーターカー用の保守材料・消耗品
・信号炎管等
・アルコール検知器等
・その他安全装備品等

【積算の内訳】

項目	数量	金額	税(8%)	合計	備考
材料費	1式	109千円	9千円	118千円	

（2　前年度から変更・見直しした点）

材料購入時には在庫数の確認・流用、購入数の確認を行ない購入することで、余分な材料を購入しないようにしています。今後も、経費の削減に努めていきます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	118	118				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
2　軌道モーターカー点検整備	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

軌道用モーターカーは夜間に営業線内を走行するため、常に正常な機能・動作が求められます。このため毎年度、点検及び整備を実施し、列車運行に支障のない整備をします。
また、10年を目処に分解点検を計画し、車両の延命化を行ないます。

【積算の内訳】

点検内容	台数	価格[千円]
定期点検	2台	[redacted]
分解整備	1台	
消費税8%		

分解整備にはトロを含む。

【主な点検の内容】
○定期点検（点検項目）
燃料装置、潤滑装置、冷却装置、電気装置、動力伝達装置、エンジン、ブレーキ装置、転向装置、走行装置、緩衝装置、クレーン、その他
○定期点検（交換部品）
エンジンオイル、ブレーキオイル、オイルフィルターエレメント、スパークプラグ、エアーエレメント、フュエルフィルター
○分解整備(整備対象)
エンジン関係、駆動・制動装置関係、油圧関係、電気・計器・車体関係、トロ関係、その他

（2　前年度から変更・見直しした点）
・定期点検の項目は、前年度と同様自動車車検と同等の点検内容や消耗品の交換を行います。
・10年目を迎えたMC・トロについて、分解整備を行います。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）
・労働安全衛生規則第167条（定期自主検査）
・交通局保守用車両使用要領第28条（定期検査）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	884	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
3　計器校正その他修理	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

電気設備の保守業務で使用する、計測機器（精密級の電流計・電圧計等）の校正を行い、検査結果の信頼性を維持し、適切な設備保全を行います。

【目的】
保守管理の品質を向上させることで、施設の保全性、安全性が向上し、旅客輸送の安全確保に繋げます。

【積算の内訳】

	数量	金額	備考
計器校正費	一式	[redacted]	
消費税(8%)	一式		

（2　前年度から変更・見直しした点）
・前年度に比較して、校正周期により、対象計器の種類に変動があります。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）
・計測器管理標準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	38	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
4　4号線可動式ホーム柵保守業務委託	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また、車両の戸挟みによるひきずり事故の防止のため、自動列車運転装置（ATO）を介して車両と通信し、車両ドアと連動した開閉を行う装置です。

ホーム柵設置に伴い、お客様の転落事故がグリーンライン開業以降0件となっています。

対象設備：可動式ホーム柵本体・総合制御盤・駅係員操作盤・乗務員操作盤・個別操作盤・駅務室監視盤

これら各設備の6ヶ月検査と1か年検査を実施し、予防保全によりホーム柵の安定動作と列車の安全運行を確保します。
また、故障が発生した場合に速やかな復旧を行うため、オンコール保守作業を行います。

※　H27年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品（外注委託）

※　H28年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品（外注委託）

※　H29年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品（外注委託）

○内訳

項　目	単価	数量	単位	積算額	備　考
可動式ホーム柵6ヶ月検査	[redacted]	10	駅	[redacted]	
可動式ホーム柵1か年検査	[redacted]	10	駅	[redacted]	
オンコール保守作業		1	式	[redacted]	
交換部品		1	式	[redacted]	LMガイド・HDD他
諸経費		1	式	[redacted]	
小計				[redacted]	
消費税（8%）		1	式	[redacted]	
合計				[redacted]	

（2　前年度から変更・見直しした点）

H21年度かし期間終了にともない、H22年度以降はオンコール保守を計上しています。
ホーム柵本体軌道面の清掃も本点検の中で実施しています。
H27年度より点検時に交換するLMガイドなどの費用も追加しています。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

鉄道に関する技術基準第58条（自動運転するための装置）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総　額
上段：繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事　業　費	9,610	[redacted]				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 加藤

【事業内容】	計画額
5　その他機器修理	309

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

保守で、変電・電路・信号・通信に属さないものまたは共通の設備に関して起こった、故障等に対する修理の費用です。
28年度は、27年度の修理状況を踏まえ、27年度と同額を計上しました。

【主な修理予定】（過去の主な修理の実績）
〇保守用自動車の故障修理
〇計測器の故障修理
〇軌道モーターカーの故障修理

【積算の内訳】　単位:千円

項目	数量	金額
機器修理費	一式	309
消費税(8%)	一式	

【課題と目標】
保守用車両の健全性を確保し、効率的な保守作業を行います。

（2　前年度から変更・見直しした点）
・前年度と同様、想定外の修理が発生した場合は、経営企画課と相談し対応することとします。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	27年度予算	28年度予算	29年度予定	30年度予定	31年度以降	総額
上段:繰越（外数）	0	0	0	0	0	0
事業費	309	309				
債務負担設定	0	0	0	0	0	0

様　式　Ｅ

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 福原・平塚

（単位：千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A−B)
予算額	311	146	165

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位：千円）

【事業内容】	計画額
1　上永谷電気区庁用車　車検・法定点検	311

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。
・国土交通省令に基づく点検
　車検及び法定点検　3台（応急車1台・庁用車2台）

○　積算【単価は直近実績（H26、27年度）に基づき、老朽化を考慮し算出した。】

（単位：千円）

応急車及び庁用車点検整備	単価	数量	単位	金額
横浜400の9646（日産キャラバン）		1	台	[redacted]
横浜800す9245（三菱ｶﾞｯﾂ）		1	台	[redacted]
横浜72る1378（ﾎﾝﾀﾞﾛｺﾞ）		1	台	[redacted]
合計				311

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成28年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用　目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 伊藤

（単位：千円）

	28年度 A	27年度 B	増減(A-B)
予算額	70	295	△ 225

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位：千円）

【事業内容】	計画額
1　自動車点検整備　電気区	70

中期経営計画　―

（1 事業目的・内容）

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。
国土交通省令に基づく点検
6ヶ月点検0台
12ヶ月点検0台
車検0台（応急車）

積算

車名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	金額
電気区ﾏｰﾁ(71の8882)	2年	[redacted]			
更新予定	2年				
合計					70

（2 前年度から変更・見直しした点）

法定検査（6ヶ月及び12ヶ月点検）を実施する。

（3 根拠法令・規程、「現場の意見」 等）

応急車点検整備＝道路運送車両法（第62条）に基づく継続検査

様　式　E

平成28年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 20　電路保存費 節・細節: 39　その他修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 山田龍夫

（単位:千円）

	28年度　A	27年度　B	増減(A−B)
予　算　額	366	266	100

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　自動車点検整備	366

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

庁用車について、法令に基づく車両検査を実施するものです。
国土交通省令に基づく点検
○横浜400ふ6118（AD）1台
○横浜11ほ1837（アトラス）1台
○横浜480す6230（エブリィ）1台

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 総務課 担当者名: 石田

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増 減 A － B
予算額	88	83	5

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	88	再生紙の購入（総務課一括購入）
合計	88	

（2 編成するにあたっての考え方）

H27年度分の実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 総務課 担 当 者 名: 石田

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増　減 A － B
予算額	20	32	△ 12

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
49 備消品費	20	再生紙の購入（総務課一括購入）
合　計	20	

（2 編成するにあたっての考え方）

H27年度分の実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 人事課 担当者名: 佐藤

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減 A － B
予算額	3,310	1,511	1,799

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
50 被服費	3,310	電路保存費支弁職員に対する被服貸与分（新規採用・異動・定期貸与）
合計	3,310	

（2 編成するにあたっての考え方）

平成27年9月1日現在在籍職員数を基に人数比で按分
作業服の在庫不足解消

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 人事課 担 当 者 名: 佐藤

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増　減 A － B
予算額	1,258	593	665

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
50 被服費	1,258	電路保存費支弁職員に対する被服貸与分（新規採用・異動・定期貸与）
合　計	1,258	

（2 編成するにあたっての考え方）

平成27年9月1日現在在籍職員数を基に人数比で按分
作業服の在庫不足解消

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 電気課 担 当 者 名: 加藤

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増　減 A － B
予算額		20,687	

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
41 資産減耗費	30,000	
51 光熱水費		電気料金（保守基地用）
63 委託料	1,660	除草作業費
64 手数料	1,622	電波利用料
合　計		

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 電気課 担 当 者 名: 加藤

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増　減 A － B
予算額		5,918	

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
51 光熱水費		電気料金(保守基地用)
63 委託料	548	再免許申請費用
64 手数料	892	電波利用用、再免許申請手数料
合　計		

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 上永谷保守管理所 担当者名: 福原

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減 A － B
予算額	9,853	8,952	901

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
42 油脂糸屑費	251	保守用潤滑油、発電機用重油、保守用ウエス等
45 自動車燃料費	635	緊急自動車用ガソリン
49 備消品費	1,516	共通物品、小額物品、文具、テキスト代、図書、追録、防塵マスク、ｱﾙｺｰﾙ検知器校正費、作業用雑貨備品、新規採用者備品、ヘルメット更新等
51 光熱水費	3,425	ガス料金、上・下水道料金（6変電所含む。）
56 旅費	543	市内・市外出張旅費、各種技能・資格講習旅費
57 通信運搬費	132	電話料金、切手代
63 委託料	1,165	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	880	各種技能・資格講習費、振込手数料、印紙代
65 賃借料	758	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料	219	緊急自動車・庁用車任意保険料、自賠責保険料
73 自動車重量税	89	緊急自動車・庁用車自動車重量税
96 雑費	240	有料駐車場代
合計	9,853	

（2 編成するにあたっての考え方）

過去の実績を基に、算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

26年度まで電気課で購入していた備消品類について、担当部署変更に伴い新たに計上しました。
庁用車1台の所管を施設区から電気区に変更しました。

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費　電気区	所属: 新羽保守管理所 担当者名: 伊藤

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増減 A － B
予算額	10,779	9,863	916

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
42 油脂糸屑費	350	摺動面オイル、特A重油、ウエス
45 自動車燃料費	343	庁用車（MC含む）のガソリン
49 備消品費	1,875	共通物品・備品・消耗品ほかベッドすのこ及び畳の交換
51 光熱水費	4,299	ガス・上下水道料金
56 旅費	511	市外・市内出張旅費代
57 通信運搬費	67	電話料金・切手代
60 負担金	36	架空電車線設備実務研修
63 委託料	1,289	建物清掃・廃棄物処理委託
64 手数料	954	資格取得・各種講習受講料、庁用車車検印紙代
65 賃借料	837	寝具・複写サービス
68 保険料	140	庁用車自賠責・任意保険料
73 自動車重量税	30	庁用車重量税
96 雑費	48	有料駐車場利用料
合計	10,779	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成28年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費	所属: 川和保守管理所 担当者名: 山田龍夫

（単位:千円）

	28年度 A	27年度 B	増 減 A － B
予算額	6,524	5,817	707

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
42 油脂糸屑費	374	軽油、ウエス等
45 自動車燃料費	329	庁用車の燃料
49 備消品費	2,195	小額物品、共通物品等
51 光熱水費	575	水道代
56 旅費	303	出張旅費
57 通信運搬費	167	電話料金、切手代等
63 委託料	821	建物清掃委託、産廃収集運搬及び処理等
64 手数料	818	各種講習会受講料及び各種免状交付料
65 賃借料	545	寝具及び複写機賃借料
68 保険料	283	庁用車自賠責保険料及び任意保険料
73 自動車重量税	64	庁用車自動車重量税
96 雑費	50	有料駐車場代
合計	6,524	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）